

たい肥を利用したい
長谷川智恵さん、和哉くん
「ドドドド」という音を子どもが聞きつけ、作業を見にきました。最初は何の音が分かりました。

チップは大活躍
成瀬守さん
痩せた畑に、せん定枝を粉碎しチップにしたものを使い込み(土に混ぜること)、土壤作りをしています。さらに、チップを炭にし、イチジク畑の土壤へ混ぜています。イチジクは、散水量が難しい。水が少くとも、やりすぎてもダメ。その点、炭を使うと理由はわかりませんが、調節がうまくでき、土がフカフカになります。



たい肥を利用したい
長谷川智恵さん、和哉くん
「ドドドド」という音を子どもが聞きつけ、作業を見にきました。最初は何の音が分かりました。



せんでしたが、各家庭から出た「せん定枝」をチップにする音だったのです。チップにしたせん定枝をたい肥にして、ごみを減らすことはとてもいいこと。作ったたい肥を、子どもが毎日水やりをする、我が家家庭菜園に利用します。



2 チップを直接利用
1 チップをたい肥に
せん定枝チップの活用方法



清掃事業所では、町内会などの団体への補助の相談を受け付けています。活動を考えている団体は、ぜひご連絡ください。

※次ページから、「ごみ減量支援プログラム」を紹介します。

特集2 地域で頑張っています

～市民協働でごみ減量作戦～



図▶清掃事業所(☎763053)

北山崎町内会は、破碎機購入の補助を受けて、平成25年度から「せん定枝」を、粉碎しチップ化したものたい肥にする活動をしています。昨年度は2730kgの「せん定枝」を資源にしました。

活動を続けることが大事
北山崎町内会会長 稲垣茂行さん
町内会として、どうしたらごみを減らすことができるかを考え、「せん定枝」のたい肥化を思いつきました。町内の年間ごみ量は約50トン。そのうちの10%をせん定枝が占めています。せん定枝を減らすだけでも5トン減ります。そこで、この事業を始めようと考えたのです。

平成25年に、破碎機購入の補助を活用し、活動を始めました。せん定枝をごみではなく、資源として考えてもらいたいですね。せん定枝は土に返すのが一番。せん定枝の回収やたい肥の配布についてもっと町民に知ってもらうために、これからも活動を続けていきたいと思います。



サルビアンからのお願い 広げよう、ごみ減量の輪



問▶清掃事業所(☎76)3053

希望する団体は、申込書と行事名・日時・場所・事業内容・主催団体の分かるもの(プログラムなどを直接・郵送・ファックス・Eメールで清掃事業所(〒441-1155堀内町西新田2/77-1318/gomizero@city.anjo.aichi.jp)へ
※申込書は同所および市公式ウェブサイトで配布。

※下表に記載のない活動でも、ごみ減量に関するものであれば支援します。清掃事業所までお問い合わせください。

■ごみ減量推進市民活動支援プログラム

下記の活動支援プログラムを希望する団体は、申込書と行事名・日時・場所・事業内容・主催団体の分かるもの(プログラムなどを直接・郵送・ファックス・Eメールで清掃事業所(〒441-1155堀内町西新田2/77-1318/gomizero@city.anjo.aichi.jp)へ
※申込書は同所および市公式ウェブサイトで配布。

支援プログラム対象活動

※団体の自主的な催しの中で、ごみ減量の啓発をする場合が対象です。

活動名	内容	提供または貸し出しうる資材など
ごみ減量・分別出前講座	町内会などの団体や市民グループが開催する講座で、ごみ減量や分別を説明(1時間程度)	配布用啓発品、講師派遣
生ごみ減量講習会(ダンボールコンポスト)	ダンボールコンポストを使った生ごみ減量を始めた人を対象にした講習会(1時間程度) ※5人以上のグループで開催。 ※参加費700円。(ダンボールコンポストキット付き)	講師派遣
ごみ減量PR活動	地域やグループの会合やイベントで主催者が参加者に、ごみ減量を広く啓発	配布用啓発品、のぼり、ごみ分別ボックス、たすき、パネル、スタッフジャンパー
ごみ分別クイズ	実際のごみを使った分別クイズ。楽しみながら分別を学ぶ	配布用啓発品、ごみ分別クイズセット
ごみ分別リレー	地域の運動会などで、実際のごみを使いごみを分ける競技です。楽しみながら分別を学ぶ	配布用啓発品、ごみ分別リレーセット
環境戦隊サルビアンDVD上映	地球を守るヒーロー環境戦隊サルビアンが、環境宣言を使ってごみの資源化や減量化の大切さをアピール(1話約15分、3話セット)	環境戦隊サルビアンDVD



▲小学校でダンボールコンポストの使い方を実演しながら説明



町内会でごみの分別方法を説明



◆何のごみか当てる「ごみ分別クイズ」



◆子ども向け啓発品

◆大人向け啓発品

始めてみませんか「ごみ減量活動」

市は、市民の皆さんとの協働により、ごみ減量分別を促進しています。地域・職場の勉強会や催しに、ごみ減量啓発活動などを取り入れてはいかがですか。市では、次のような支援をしています。

- ごみの分別方法の説明
- ダンボールコンポストの講習
- 講師を派遣

●ごみ分別をPRするのぼり旗・ごみ分別ボックス・タスキ・パネルなど
●楽しみながらごみ分別を学べるクイズセット(左写真)など

●町内会などの団体によるごみ分別講習会の開催時に、受講者へ渡す、雑がみ回収袋や再生紙のトイレットペーパー、子ども向けのサルビアンのシヤープペンシルや蛍光ペンなどを提供

啓発資材の貸し出し

啓発品の提供